

科目名	経済の歴史と法則 I (経済原論)		担当者名	中野洋一(ナカノヨウイチ)	
開講年次	1	開講時期	前期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	2
ナンバリング	C0011	該当DP	DP2,DP3	実務経験	
授業概要	ヨーロッパの市民革命と産業革命によって近代社会すなわち資本主義経済が生まれ発展していくが、経済学はそれと同時に生まれ発展していく。この授業では18世紀以降の経済学の大きな流れを把握し、その主要な時代の経済学の学説と内容を学ぶ。イギリス古典学派経済学から始まるが、19世紀後半には近代経済学とマルクス経済学に分化する。近代経済学においては、限界効用論を基礎とした新古典派経済学あるいはマイクロ経済学が成立する。1929年世界恐慌を契機にケインズ経済学(大きな政府の経済学)が登場し、マクロ経済学が成立する。1980年代以降、新古典派経済学の流れから新自由主義経済学(小さな政府の経済学)が登場し現在にいたる。経済学は、理論、政策、歴史、現状分析と大きく分類できるが、この授業では歴史の流れを簡単に説明しながら理論と政策を重点にすすめていく。				
到達目標	1. 経済学の大きな流れと主要な学説を理解し、その学説を基礎にした経済政策の展開も理解し、説明できるようになること。 2. 世界情勢と経済状況がいかに関連しているかを理解し、経済ニュースなどを受け身ではなく、批判的に考えることが可能となり、できれば自身の独自の見解を持つことができるようになること。				
授業計画	回	授業内容		授業外学習(内容と時間)	
	1	経済学の大きな流れ		授業後のプリント復習	20分
	2	自然経済と商品経済、3つの経済主体		授業後のプリント復習	20分
	3	貨幣と通貨		授業後のプリント復習	20分
	4	インフレとデフレ		授業後のプリント復習	20分
	5	イギリス古典学派その1(アダム・スミス、労働価値論)		授業後のプリント復習	20分
	6	イギリス古典学派その2(デヴィッド・リカード、比較優位論)		授業後のプリント復習	20分
	7	マルクス経済学(マルクス、剰余価値論)		授業後のプリント復習	20分
	8	新古典派経済学(限界効用論、価格決定メカニズム、独占と寡占)		授業後のプリント復習	20分
	9	新古典派経済学(限界効用論、価格決定メカニズム、独占と寡占)		授業後のプリント復習	20分
	10	ケインズ経済学その1(GDPと三面等価の原則)		授業後のプリント復習	20分
	11	ケインズ経済学その2(大きな政府の経済学、3つの特徴)		授業後のプリント復習	20分
	12	ケインズ経済学その3(財政政策と金融政策、4つの問題点)		授業後のプリント復習	20分
	13	新自由主義経済学その1(フリードマン、小さな政府の経済学)		授業後のプリント復習	20分
	14	新自由主義経済学その2(特徴と具体的な経済政策)		授業後のプリント復習	20分
	15	新自由主義経済学その3(実態経済と金融経済)		授業後のプリント復習	20分
教科書	特になし。毎回、資料と説明のプリントを配布する。授業中の確認問題は回収し、それを採点する。				
参考書	根井雅弘『入門経済学の歴史』ちくま新書2010年。飯田泰之『経済学講義』ちくま新書2017年。柳川隆・町野和夫・吉野一郎『マイクロ経済学・入門(新版)』有斐閣アルマ2015年。福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門(第5版)』有斐閣アルマ2016年。				
成績評価	方法	割合	備考		
	授業でのレポート提出	100%	説明の内容および各自の意見等(結果フィードなし)		
履修上の注意	授業中の私語とスマホゲームの禁止。 授業の最後20分はその授業でのレポートを作成し、提出すること。 ※状況に応じて授業期間内に期末レポートやオンライン課題の提出で期末試験の代わりとする。				
オフィスアワー	出講時いつでも可		メールアドレス	nakano101@ari.bbq.jp	